

「読書の習慣を身につけよう！」 〜お勧め本50冊第三弾！〜

株式会社パートナーズリンク
代表取締役社長 藤崎敏郎



日本各地で社員研修を実施しています。どの会社でも一年間の継続研修のご依頼を受けています。仕事力のアップのためには、人間力の向上が欠かせないと共感していただいているからです。人間力の向上の一環として、読書研修の時間を毎回のカリキュラムの中に取り入れています。最初は月1冊も読まなかった受講者たちが、毎月5冊以上の本を読むようになった会社もあります。人間には潜在能力があります。本気になる毎月5冊以上の読書もできるようなのです。今回は、その秘訣とお勧め本50冊をご紹介します。

●読書習慣を身に付けさせる仕組み

読書習慣を身に付けさせるためには、仕組みが必要です。その一つが読書リストです。読書習慣を身に付けさせる道具として、毎月読んだ本と著者名を書かせる読書リストを研修参加の前までに書かせています。そして、研修の最初に、読書リストを見ながら発表する読書研修の時間を取るようにしています。読書研修では4人〜5人程度のグループに分かれて、自分の読んだ本の印象に残った言葉や本から学んだことを発表させています。これまで本の感想を発表したことが無い受講者もたくさんいます。それで

も、誰もが活き活きと自分の読んだ本の感想を話しています。私は、一番感動を与えた人を読書大賞として表彰しています。賞品として図書カードをプレゼントしています。これを毎回続けています。一番大切な仕組みは続けることです。毎回、繰り返すことなのです。

このような読書研修を実施していることがありますが、半年も継続すると、受講者の顔が変わってくるのです。引き締まった賢そうな顔に変化しているのです。物を考えている人間とそうでない人間の違いが顔に出てくるのです。

●読書のススメ

ところで、読書の目的は何でしょうか。それは、「ものの見方や考え方を広げることにあります。同じ時間に起き、同じ通勤経路をたどり、同じメンバーと一緒に語らい、同じような仕事をしている毎日の連続だとしたら、発想が変わりようがありません。そこで、発想の源を読書から得たいわけですが、注意したいのは本の選択です。本屋さんに寄って、思わず手にしてしまうその本の選択も、実は自分なりのパターンがあるのです。発想を豊かにするはずの読書が、これでは自分自身の発想を狭

くしている可能性もあるのです。ですから、普段自分の選ばない本を選ぶことも大切なのです。例えば、他の人の読んでいる本・薦める本の中から選ぶ方法があります。読書研修でも、読書リストをお互いが閲覧をする時間を取っています。他の人が読んでいる本・感動した本が分かるので、自分の本の選択に役立てることができます。

また、私自身も、社員研修の受講者から先生のお勧め本は何かと聞かれることがたびたびあります。それに応えて、今回は、お勧め本50冊のシリーズ第三弾を書きました。これまで書いた第一弾と第二弾はホームページに原稿としてアップされています。ぜひとも、『藤崎リスト』も参考にされてください。新刊ばかりではありません。中古本も数多くあります。良い本は長く読み継がれているのです。ちなみに、私は本の注文はインターネットサイトを利用することが多いです。中古本も買いやすからです。

●お勧め本50冊について

私がここ一年間で読んで良かったと感じた本をご紹介します。再度、読み直した本もあります。テーマごとに紹介していますが、例えば、「新入社員にお勧めの本」というテーマの本などは、新入社員に限りません。どのような方々にも役立つ本です。

●新入社員にお勧めの本

新入社員研修、フォローアップ研修をしています。新入社員の時から本を読む習慣を身に付けなければなりません。将来の管理職社員になるためには、良書を選んで読んでおかなければなりません。いずれの本も良書で、新入社員が読んでおくべき本です。

- 1、「レバレッジ・リーディング」(本田直之著 東洋経済)
- 2、「入社3年目までに勝負がつく7の法則」(中谷彰宏著) P H P 文庫
- 3、「大学を素読する」(伊與田覺著) C & R 研究所

大学を素読する本です。声に出して読んでみると、意味が分かるようになります。社会人のバイブルと言える本です。20歳代のうちに買いたまう。そして、意味が分からなくても音読して欲しい本です。

4、「20代からの仕事のルール」(小山政彦 (PH P))

著者は船井総研の代表取締役会長です。仕事のルールを50項目に簡潔に書いています。その一つとして、毎月10冊は本を読む」というルールがあります。それは、説得力が増す効果が大きいからです。

- 5、「働く君に贈る25の言葉」(佐々木常夫幸著) W A V E 出版
- 6、「何のために働くか」(北尾吉孝著) 致知出版
- 7、「人を動かす」(デール・カーネギー著) 創元社
- 8、「道は開ける」(デール・カーネギー著) 創元社
- 9、「道は開ける」(デール・カーネギー著) 創元社

両方とも新入社員に読んで欲しいベストテンに入る古典とも言える本です。読み応えがあるので、何度でも読み返して欲しい本です。

●管理職向けの部下指導に役立つ本

部下もいて、上司もいるという中間管理職社員にお勧めの本ばかりを選びました。まるで師匠のように語りかけながら教えてくれるような本ばかりです。

- 9、「メンタリング・マネジメント」(福島正伸著) ダイヤモンド社
- 10、「大人が変わる生活指導」(原田隆史著) 日経 B P
- 11、「社長はなぜ、あなたを幹部にしないのか」(小山昇典著) 日経 B P
- 12、「職場の法律 Q & A」(藤崎敏郎著) (株) アド・サークル
- 13、「よくわかる部下取扱説明書」(松井貴彦著) 文香社

原田先生は、論理的に細かく目標設定をする方法で生徒指導を成功させてきた教師でした。社会人教育も同様にして、成功させています。

副題は「エスマンこそが会社を救う」という本です。エスマンであることの重要性が分かります。

部下を持つ上司は労働法の基礎知識がないと、会社をリスクから守ることができません。また、この本では労働法以外の部下管理のコツも書かれています。

労働法違反ではないけれど、問題を感じる部下の対応についてのアドバイスが満載です。ケーススタディー形式なので分かりやすい本です。

14「答えは現場にあり」(大畑誠也著) 高専学校の校長先生の奮闘記です。

▼ふじさき・としろう



大阪市立大学卒業。イトーヨーカドー入社後、関東のパチンコチェーン店にスカウトされる。経営計画室長として、店舗マニュアルの作成・営業指導・社員研修を行う。その後営業担当部長として、全店舗の指導・競合店対策・不振店対策を行う。現在は、人事コンサルタントとしてパチンコ企業の人事・労務システムの作成、就業規則などの作成を行う。コーチングを生かした社員教育は好評。ご連絡はホームページ <http://p-link.co.jp/> または携帯 090-6044-3307 よりお願いします。

■ブログ紹介!! 日々の活動を楽しく、まじめに書いています。「パチンココンサルティング日記!!」 <http://plaza.rakuten.co.jp/jinjisoudan/>

読後感が爽やかで、心が明るくなりま
す。挨拶・読書・感謝の大切さが分か
ります。

15、「話し方ひとつで、人生はでっか
く変わる！」(中村文昭著) サンマー
ク出版

T T P (徹底的にバカる)、T K P
(ちよつと変えてバカる)、O K P (思
いっきり変えてバカる) という T T P
の三段階が書いてあります。

16、「実行力100%の会社をつく
る！」(大久保恒夫) 日本経済新聞出
版社

業績を上げる方法はそんなに難し
いことでなく、大事なことをきち
んとやり抜くことだと分かります。

17、「ドラマティックマネジメント」
(森憲一著) かんき出版

チームで仕事をするサービスマ
ンで仕事をしている人なら、誰にでも役立
つ本です。チーム力を強化したい人
は最高の本でしょう。

18、「マキャベリの君主論」(金森誠也)
日本文芸社

経営層に近い管理職の人には、マ
キャベリのことを書いた本は欠かせ
ないと思っています。この本が私のお
勧めのマキャベリ本です。

●笑顔と感謝の本

本を選ぶときにあるテーマに絞つ
て集中的に本を選んで読むという方
法があります。おそらく5冊を読む
と、そのテーマの基本となる考え方が

分かるようになります。笑顔と感謝に
絞りましたが、サービスマンに従事する
人たちは19、21の3冊を読むと笑顔
力の重要性が分かります。

19、「仕事も人間関係もうまくいく笑
顔力」(諏訪ゆう子著) あさ出版

笑顔の大切さや、笑顔を引き出す方
法が書かれています。良い笑顔がで
きるようになる実習も書かれています。
サービスマンに勤務する人は必読で
しょう。

20、「どんな儲かる笑顔のしくみ」
(門川義彦著) ダイアモンド社

笑顔コンサルタントとして、数多く
の業績向上をさせた体験は素晴らしい
です。この本を読むと笑顔の力を信
じていることができるようになるでし
ょう。

21、「笑顔の魔法」(のさかれい) 著
青春出版社

仕事だけでなく、私生活の幸せも実
現できるという自信が持てる本です。
幸せになるチェックシートも付録で
付いています。

22、「ありがとう力で会社は変わる」
(福原祐一著) 大和出版

当たり前だけどなかなかできない
感謝しあう組織の作り方のアドバイ
スが満載です。

23、「なぜ、感謝するとうまくいくの
か」(五日一剛著) マキノ出版

ありがとうは魔法の言葉です。感謝
すると未来が変わります。

24、「幸せをよぶ魔法の言葉」(舛岡は

な著) P H P 文庫

言えは言うほどいいことが起こり
だす言葉がたくさん書かれています。

●人生を考える本

25、「生き方」(稲盛和夫著) サンマー
ク出版

一流の経営者がすべての人に贈る、
究極の人生論です。

26、「運命を拓く」(中村天風著) 講談
社

多くの経営者に影響を与えたのが
中村天風先生です。天風先生の教えが
分かるベストの1冊だと思います。

27、「天風哲学実践記」(尾身幸次著)
P H P

天風先生の指導を受けて人生が変
わった元大臣の尾身先生の体験記で
す。今は天風会の理事長です。読んで
感動しました。

28、「ここ一番に成功する運とツキを
呼ぶ方法」(西田文郎) 創英社

自分の人生をツキのある人生にし
る秘訣が書かれています。気楽に何度
でも読むことができる本です。心の習
慣を変えることができると、運とツキ
を引き寄せることができます。

29、「死の授業」(新井満著) 講談社

生きるためには死ぬことを考える
ことも必要です。それにより、今、生
きていることを実感できるのです。中
学生に実施した授業体験記です。

30、「大学・中庸」(守屋洋著) P H P

四書五経は、人の上に立つ人の教科

S A N C T U A R Y B O O K S

登山家の栗城さんの限界を超える
チャレンジが、周りの人々に勇気を与
えています。命をかけて一生懸命の大
事を伝えることを自分の役割だと
しています。

46、「采配」(落合博満著) ダイアモン
ド社

元中日ドラゴンズの落合監督の部
下統率術が書かれています。勝負の世
界の厳しさ、人の上に立つ人の厳しさ
も分かります。

47、「空腹が人を健康にする」(南雲吉
則著) サンマーク出版

一日一食で20歳若返る秘訣が書か
れています。社長が全社員に配った会
社もあるそうです。健康法もビジネス
マンとして成功するために欠かせま
せん。

48、「三つのしつけ」(寺田一清著) 登
龍館

子育ての本です。親も子も共に育つ
大切さが書かれています。いざ親に
なる大人全員の読んで欲しい本です。

49、「あんぼん」(佐野眞一著) (小学館)

孫正義さんの人生が書かれていま
す。挫折や苦勞をバネにして、経営者
として大きく成長したことが分かる
本です。

50、「本気」(相田みつを著) 文化出版
局

心の清涼剤となる詩集です。心が疲
れたときに読むと、元気になれる1冊
です。

書です。その中の大学と中庸の解説本
です。大きな仕事をする経営者層には
欠かせない本だと思っています。

●習慣・信念の重要性が分かる本

仕事があまく行く人とそうでない
人、あるいは、人生で成功する人と
そうでない人、その大きな違いは何
でしょうか。それは、信念があるのか、
また、その信念を貫き通せる良い習
慣を持っているかどうかではないで
しょうか。

31、「商いの心配り」(伊藤雅俊著) 講
談社文庫

私の学卒入社した会社の社長が伊
藤社長でした。伊藤社長の商いの心配
りが、重厚に伝わってきます。セブン
& アイグループの創業社長の珠玉の
一冊です。

32、「朝10時までには仕事は片付ける」
(高井伸夫著) かんき出版

したいと思うことは「いますぐ」を
心がけるなど、仕事を早くするコツが
書かれています。

33、「信念の魔術」(C M プリストル著)
ダイアモンド社

信念の大きい力について、説得力
のある文章で書かれています。成功し
ている人に共通しているのは信念を
持っていることです。

34、「プラス思考の習慣で道は開ける」
(阿奈靖雄著) P H P 文庫

積極的にプラス思考を取り入れる
習慣の例が数多く書かれている本で

す。自分が良いと感じた習慣例を真似
しようという気持ちになれる本です。

35、「夢は紙に書くと現実になる」
(ヘンリエッタ・アン・クロウザー著)
P H P 文庫

思っただけでなく夢は紙に書く
と実現するそうです。具体的に箇条書
きすると良いそうです。私も100
以上の目標(夢)を具体的に書いた
ことがあります。3年後見直したら、
8割以上が実現していました。

36、「今すぐ言葉を変えましょう」(佐
藤由紀著) N A N A ブックス

言葉の習慣を変えることで人生を
変えた著者の体験記です。言葉の選択
も習慣です。プラスの言葉を使う重
要性が分かります。

37、「人は嫉で人となる」(岡田武彦著)
登龍館

子どもに対する嫉教育の重要性が
分かります。子ども対象の本ですが、
会社は社員にも嫉をしなければなら
ないと思っています。それが愛情だか
らです。

38、「生活習慣塾」(田中真澄著) ぱ
る出版

39、「幸せと成功の源泉家族」(田中真
澄著) ぱる出版

両方とも、社会教育家の田中真澄先
生が良い生活習慣を持つことを熱く
語っています。

40、「なぜか仕事があまく行く人の習
慣」(ケリー・グリーンソン著) P H P

仕事があまくいっている人に最大

の習慣は、すぐにやる習慣です。〃思っ
たらすぐやる〃これが、仕事があまく
行く習慣です。

41、「アツの習慣」(ステイブ・R・
コビイー著) キングベア出版

この本を読むのは社会人の常識で
しょう。読み応えのある本なので、
ゆつくりと腰を据えて読みましょう。
一度読んで満足せずに、年齢を重ねる
たびに読みましょう。必ず、学ぶとこ
ろがあります。

●視野が広がる本

42、「大人の流儀」(伊集院静) 講談社

そんな考え方をしても良いのかと
驚くような大人の流儀が書かれた本
です。

43、「最も大切なボランティアは自分
自身が一生懸命に生きること」(池間
哲郎著) 現代書林

世界にはゴミ捨て場に生きる人が
います。大人にならないままに死ん
でいく子どもたちがたくさんいます。
日本に生きている私たちは、一生懸命
に生きることが大切なことだと分か
る本です。

44、「手足のないチアリーダー」(佐野
有美著) 主婦と生活社

生まれたときから手足が無い佐野
有美さんの一生懸命に生きる体験談
が書かれています。手と足がなくても
チアリーダーとして活動したのです。
感動します。

45、「NO LIMIT」(栗城史多著)

■人事・教育コンサルティング 代表 藤崎敏郎
■本誌「パチンコホール企業のリスク管理執筆」

株式会社 パートナースリンク

自分を知り、人を活かし、組織を動かすリーダーになるための「行動力アップセミナー好評実施中!!」

- ・リーダーに求められる役割とは
- ・できるリーダーの行動指針
- ・できるリーダーの業務の組み立て方
- ・リーダーに求められる8つの行動指針と64の行動例

※研修等で移動が多いため、ご連絡は下記のメールアドレスまたは携帯電話にお願い致します。

URL: <http://p-link.co.jp/>
東京都江東区有明3-1-25 有明フロンティアビルB棟9階
TEL: 03-5530-9041 FAX: 03-5530-9042

連絡先 [E-mail] info@p-roumu.jp [電話] 090-6044-3307